



青森労災病院 理念 「やさしく、あたたかい病院」

- ・患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を行います。
- ・医療の質の向上をめざします。
- ・勤労者医療・地域医療連携等における役割を推進します。



新年のご挨拶

青森労災病院 院長 玉澤直樹



新年あけましておめでとうございます。

平素より当院へのご協力・ご支援に厚くお礼申し上げます。

2023年は「癸（みずのと）卯・（う）」の年で今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍する年であるとされています。当院は本年も「やさしくあたたかい病院」という当院の理念を職員全員が心にとどめ、地域の皆様から信頼される病院を目指して参ります。

コロナ禍の2022年は「オミクロン株が猛威をふるった年」といえるともいます。1月から、オミクロンBA1、2による第6波、その後、7月からBA4/5による第7波、それに続く第8波・それに加えて現在はインフルAにも直面しています。当院では、これからのWithコロナに向けた新たな取り組みとして、各病棟でred zoneを設けてコロナ陽性患者／濃厚感染患者を受け持つ体制の構築を目指しています。八戸医療圏の重点病院として大きなキャパシティをもって対応してくださっている八戸市民病院・日赤病院には、大変お世話になっており改めて深謝いたします。

一方、厚生労働省からは、これからの人口減少・少子高齢化を見据えて、その地域に見合った地域医療構想を掲げ、病院規模の再検証（病院の統合や病床の削減など）が求められています。地域の患者さんへ未病から疾患の超急性期から慢性期そして介護まで、切れ目のない医療を提供できるコンパクトな総合病院を目指すという当院の目標に変わりはありません。しかし色々と難しい舵取りが要求される年となります。



生活習慣病センターでは、この5年間当院通院中の患者さんたちの動脈硬化症（冠動脈疾患、脳卒中、循環器疾患）の発症率について絶対リスク評価を経年的に行ってきました。その結果当院で包括的な治療を受けている糖尿病の患者さんの各動脈硬化症の発症リスクは、糖尿病のない患者さんと差がないことを示すことができました。

令和5年は、1年目・2年目の研修医に加えて3年目の専攻医3人も当院に派遣されます。なにやらにぎやかな年になりそうな気がしています。

まだまだ、寒い日が続きます。各人が十分に体調に気をつけて、コロナやインフルエンザへの適切な対応を含め、引き続き皆様方の益々のご健勝をお願い申し上げます。繰り返しになりますが、今年1年が、少しでも成長と飛躍の年になりますことを、祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



医師の異動について

◆ 採用：令和5年1月1日付け

・ 形成外科医師 京野 香織 先生

※形成外科は今後2名体制で診療を行います。



八戸市民講演会を当院で開催しました

当院において10月22日（土）に「高齢者のがん治療」のテーマで弘前大学大学院と共同で八戸市民講演会を開催しました。当院からは真里谷副院長、伊神副院長、小清水看護師長がそれぞれ「高齢者に適した放射線治療」「緩和IVR」「高齢がん患者への緩和ケア」という演題で公演しました。



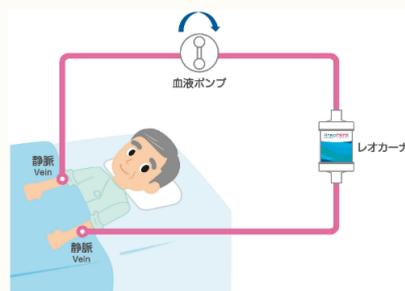
閉塞性動脈硬化症の新たな治療オプション（レオカーナ）について



心臓血管外科 野村亜南

閉塞性動脈硬化症の中で潰瘍・壊死を伴う包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）は治療に難渋することがあります。腸骨動脈や大腿動脈領域に関してはステント、ステントグラフト、薬剤溶出性バルーン、バイパス等治療の選択肢が幾つかあります。しかし、現在膝下の病変に対して使用できるステントは存在しないため、膝下病変に対してはバルーンで拡張させる（POBA）かバイパス手術を行うこととなります。POBAのみでは再閉塞率が高く、血管の性状が悪い場合バイパスすら出来ないこともあります。そのような場合、最終的に部分的に切断をしなければなりません。

令和3年から保険適応が始まった「レオカーナ」という新しい治療法があります。レオカーナは血液中のLDLコレステロールとフィブリノーゲンを選択的に吸着除去することで血液の粘性を低下させ、末梢の微小循環を改善させるというものです。レオカーナの保険適応は血行再建不適応



な潰瘍を有するASO患者となっており、具体的には①解剖学的困難、②血行再建術が手技的に不成功、③血行再建術が臨床的に不成功（手術は成功しても潰瘍が治らない場合）、④その他の理由となっております。全ての患者に対して使用できるわけではありません。レオカーナの治療法は週に2回、1回2時間程度かかり、最大で3か月まで保険適応となります。一度で終わる治療法ではなく、時間もかかるためこの治療を行うためには患者の協力が得られるかどうかというところが問題となります。

当院ではまだほとんど使用した経験がありませんが、昨年レオカーナを行った患者は潰瘍が良くなり、現在も元気に外来に通院しております。透析患者は全体的に高度の石灰化を認め、バイパスが困難な症例が多くみられるため、少しでも切断の回避につながるのであれば有用な治療のオプションではないかと思われま

す。難治性の潰瘍を有する患者がいれば一度当科に御相談頂ければ幸いです。





青森労災病院 FAX・電話による診療予約のご案内

当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮を目的に、FAX・電話による診療予約を実施しております。

【専用FAXによる予約方法】

予約受付時間：午前8：30～午後9：15（ただし、状況によって対応します。）

予約FAX番号：0178-33-1690（地域医療連携室直通）

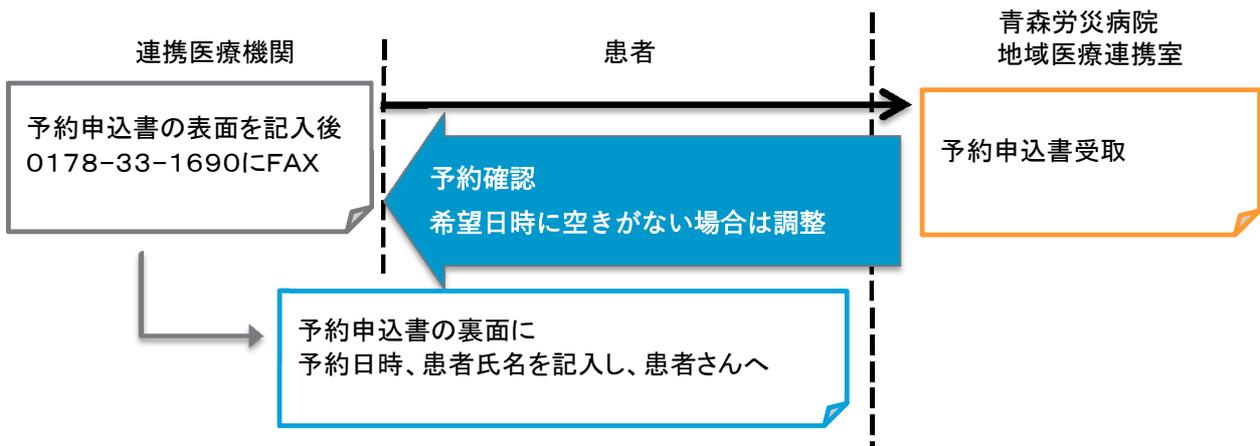
予約申込書：当院ホームページ≫各部門のご紹介≫地域医療連携室のページからダウンロード可能です。

郵送またはFAXでもお送りしますので、ご希望の際はご連絡ください。

※予約の申込につきましては、診療日前日までとなっております。

当日の予約については、お電話のみでの対応とさせていただきます。

◇利用手順

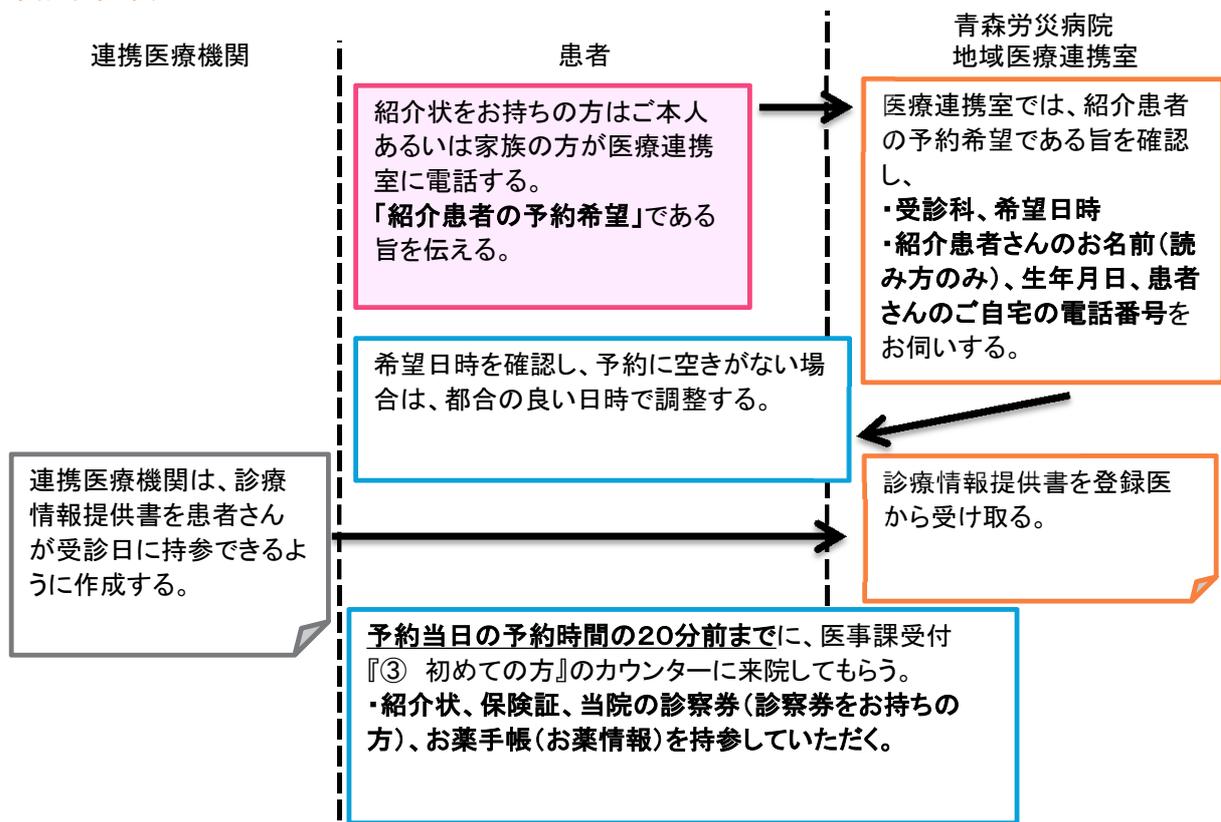


【電話による予約方法】

予約受付時間：平日午前8：30～午後5：00

予約電話番号：0178-33-1551 内線2515

◇利用手順



※FAX予約では、事前にカルテ登録を行いますが、電話予約の場合、当日のカルテ登録となりますので若干お時間を頂きます。

青森労災病院へ 診療予約をされた方へ

◎お名前

	様
--	---

◎あなたの予約日時は

月	日 ()	時	分
---	-------	---	---

◎予約当日は

- *予約時間の20分前までに、『③はじめての方』の窓口（正面玄関を入り左側）までお越し下さい。 ※糖尿病・内分泌内科については1時間前にお越し下さい。
- *診療上の都合により、多少時間がずれることもありますのでご了承下さい。

◎お持ちいただくもの

- 紹介状（必ずお持ち下さい）
- 保険証（公費医療の受給者証など）
- 本状
- 診察券（過去に青森労災病院に受診歴がある方）
- お薬手帳（または、お薬の内容が記載されている用紙）



交通ご案内

- ◆ 八戸自動車道八戸ICより約8km
- ◆ 八戸久慈自動車道八戸南ICより約6km
- ◆ JR八戸線白銀駅より約700m
- ◆ 市営バス「労災病院通」バス停
 - 鮫方面 ①より徒歩5分
 - 市庁方面 ②より徒歩5分
- ◆ 市営バス「労災病院前」バス停
 - 市庁方面 ③より徒歩1分
 - 岬台団地方面 ④より徒歩1分

◎お問い合わせ先

青森労災病院 地域医療連携室
TEL 0178-33-1551 内線2515